

# USNET

2023  
SUMMER

No.  
69

75<sup>th</sup>  
FUJITEC

USNET FEATURE  
スポーツ起点の  
まちづくり





## CONTENTS USNET アスネット 2023 SUMMER No.69

- 3 USNET FEATURE  
スポーツ起点のまちづくり
- 8 WORKS フジテックの納入事例 [エスコンフィールドHOKKAIDO (北海道)]
- 10 PICK UP 高層マンションのエレベーターリニューアル  
～居住者さまに配慮した工事を実現～
- 12 ニューノーマルな働き方  
花王株式会社 [みんなのGENKIプロジェクト]
- 13 Let's! 未来へのワンアクション  
[4 質の高い教育をみんなに]
- 14 ご当地の名品名所 [北海道]
- 16 移動をつくる現場から [六本木サービスセンター 主管 原田 晋吾]

## スポーツ起点の まちづくり

まちづくりの手段の一つとして、近年注目を集めているスポーツ。  
 地域の人々がともに活動するスポーツは、地域振興との相性も非常に優れています。  
 今号の特集では、日本におけるスポーツ振興の流れやスポーツを起点としたまちづくりの事例を通じ、  
 これからのまちづくりの新たな可能性を探っていきます。

### FROM FUJITEC

#### 「USNET」とは

「USNET」(アスネット)は、お客さまとフジテックがUS(私たち)となって結ばれ、明日のより美しい都市機能を、共に目指していくためのコミュニケーション誌です。

カバーは、季節の移り変わりとともに暮らす人々の様子を物語のような世界観で表現。暑く晴れた夏のビーチ。かなたのかき氷の島では白熊がつまみ食いをする。今年の夏休みは何が待っているかな。

COVER  
Illustration: Takashi Kawakami



#### フジテックは、2023年2月9日に創業75周年を迎えました。

これまで、当社の活動を支えていただいたステークホルダーの皆さまに心より感謝申し上げます。今後も移動を支えるパートナーとして、“安全・安心”を最優先に、快適なエレベーター・エスカレーターを提供してまいります。



バックナンバーも読んでみてね!



フジテック“安全・安心”のシンボル「テッキー」



# スポーツとまちの豊かな関係

スポーツを起点としたまちづくりはどのように形づくられてきたのでしょうか。もたらされるメリットと併せて紹介します。



[取材・監修]

拓殖大学 商学部 教授 **松橋 崇史**氏

専門はスポーツマネジメント・スポーツ政策。スポーツまちづくりを領域として、スポーツメガイイベントが非開催地に与える影響や、プロクラブやスポーツイベントが地域活性化に与える影響に関する調査研究を行う。主な著書に『スポーツまちづくりの教科書』（共著）、『スポーツのちから—地域を変えるソーシャルイノベーションの実践—』（共著）。

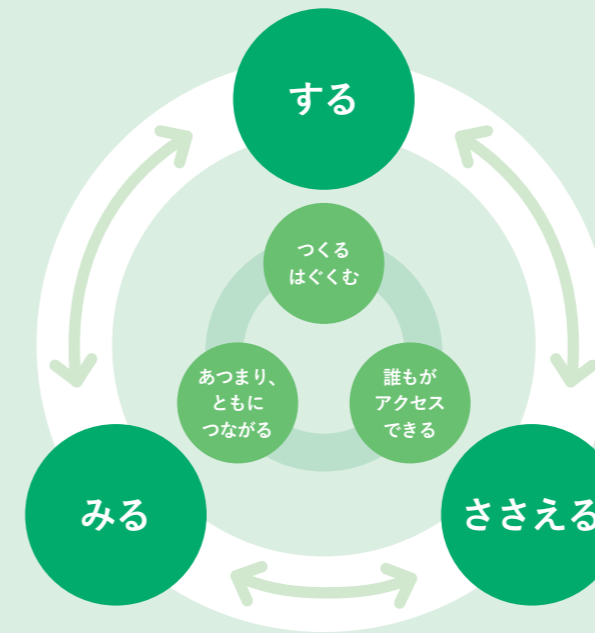
## スポーツ推進の動き

### 国内スポーツ環境の変化

全国各地でさまざまなスポーツ推進が行われている日本。その始まりは1961年に制定された「スポーツ振興法」にさかのぼります。この法律には、スポーツ施設の整備や指導者の育成、スポーツによる国際交流の促進などが盛り込まれ、国内のスポーツ環境の向上に寄与しました。21世紀になって制定された「スポーツ基本法」では、国民がスポーツを行う権利が明記され、2021年には東京2020オリンピック・パラリンピックが開催。さらに「パラスポーツ」というカテゴリが成熟することで多様なスポーツが普及し、障がい者や老若男女が取り組めるスポーツが広く社会へと浸透しました。



## 関わりを生むアプローチ



スポーツとの関わり方には「する・みる・ささえる」の3つがあり、「する」人がいることで「みる」人が生まれるといった相関関係にあります。さらに、これら3つの実現には「つくる／はぐくむ」「あつまり、ともにつながる」「誰もがアクセスできる」の3つのアプローチがあり、実現のためにはまちづくりなどの環境の整備が必要です。

#### ▶ つくる／はぐくむ

社会の変化や状況に応じて、既存の仕組みにとらわれずに柔軟に見直し、最適な手法・ルールを考えて作り出す。

#### ▶ あつまり、ともにつながる

さまざまな立場・背景・特性を有した人・組織があつまり、ともに課題に対応し、つながりを感じてスポーツを行う。

#### ▶ 誰もがアクセスできる

性別や年齢、障がい、経済・地域事情などの違いでスポーツの取り組みに差が生じない社会を実現し、機運を醸成。

## スポーツによるまちづくりの在り方

### 地域活性の手段としてのスポーツ

人々が一緒にスポーツを行い、観戦・応援し、スポーツイベントを運営したり、支えたりすることで、社会や地域における人々の共通感覚や社会的ネットワークが生まれ、信頼関係や結び付きが強くなります。スポーツによるまちづくりとは、関わる人々の生活の質を健康的に向上し、スポーツ活動そのものを持続的に発展させるとともに、まちづくりに関連する活動に波及させようという考えです。スポーツには、地域の人々が進んで一緒に活動する場面をつくりやすく、イベント開催など他の活動に広がりやすい

特徴があり、地域振興との相性も優れています。地元のクラブチームをみんなで支える、運動会で同じ目標を目指して連携する、スポーツ大会のための環境整備を進める中で新たな雇用を生むなど、まちに社会的・経済的なメリットをもたらします。

次に紹介する北海道北広島市の「北海道ボールパークFビレッジ」や、愛媛県今治市に誕生した、「Jリーグの今治FCとそのホームスタジアム」として開設した「今治里山スタジアム」などは、スポーツまちづくりの代表的な事例です。

### ラグビーワールドカップ2019の経済効果



岩手県釜石市では、2019年に国内で開催されたラグビーワールドカップに合わせ、「釜石鶴住居復興スタジアム」を建設。大会で多くの人を集めたことで、県内への経済波及効果は113億4,500万円に上りました。

### まちへのメリット



#### 市民交流のネットワークを生む

プロチームのサポーターや、マラソン大会の参加者同士、さらにスポーツに適した歩道や緑道が整備されれば、そこに集う人々によって新たな市民交流のネットワークが誕生。精神的な充実感が得られる。

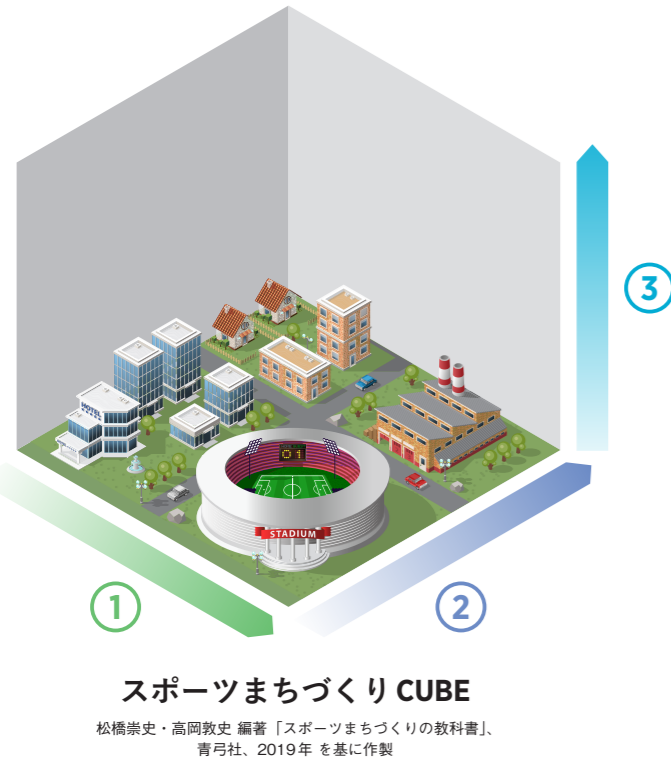


#### 地域経済の活性化

スポーツ観戦などを主目的とするスポーツツーリズムによるインバウンドの促進や、スポーツイベント・キャンプ誘致による経済交流、障がい者スポーツを通じたバリアフリー推進など、地域経済の活性化につながる。

# スポーツを取り入れたまちづくり

## スポーツを取り入れたまちづくりに必要な3条件



スポーツを取り入れたまちづくりを推進するためには、「社会的ネットワーク」「スポーツインフラ」「事業性」の3つの要素が重要です。これらの概念を図式化したものが、「スポーツまちづくりCUBE」。3つの要素の重要度に優劣はなく、3つがそろうことでまちづくりの実効性が高くなります。3つの要素を同時に考え、いかにして好循環を生み出していくかという発想を持つことが重要です。

### ① 社会的ネットワーク

まちづくりの多様な担い手を生み出すために、関連組織や団体、関係者の連携・協働のネットワークを広げること。

### ② スポーツインフラ

まちに人を呼び込み、交流を促し、まちを活性化させるために、スポーツクラブやイベントを育て、スタジアムやアリーナなどを整備すること。

### ③ 事業性

必要な資源を確保し、スポーツまちづくりに継続性を持たせること。

全国に広がりを見せている「スポーツまちづくり」の事例を紹介します。

### ② スポーツインフラを整えるために…

## スポーツと社会との共創空間を設置する

魅力的なスタジアムを核とした一帯開発を行うことで、さまざまな事業を生み出し、社会的・経済的に大きな成果を上げる。

### CASE 2 北海道 北広島市

#### エスコンフィールド HOKKAIDO



©H.N.F.

## 新たな球場をまちづくりの核に

2023年、プロ野球北海道日本ハムファイターズは新たな本拠地として北海道の北広島市に「エスコンフィールド HOKKAIDO」を設立。また球場の周囲に「北海道ボールパーク F ビレッジ」を開発しました。球場を核とし、ボールパークで楽しむ人々と各種商品・サービスを提供する事業者を結び付けるプラットフォーム事業を展開しています。同施設には、アウトドアショップや子どもの遊び場、ホテルにピラなどがそろいます。官民学の多岐にわたる事業パートナーとともにまちづくりを推進することで、スポーツと北海道を融合した新しいまちづくりの形を提案しています。

### ③ 事業性を高めるために…

## まちの資源を生かす

合宿地や人気の合宿施設を形成し、運営に携わる多様な担い手をはじめ、多くの観光客や利用者を受け入れる。

### CASE 3 佐賀県 佐賀市

#### SAGA FURUYU CAMP



## 廃校の活用でスポーツ人口を集める

「SAGA FURUYU CAMP」は、2020年4月に佐賀市の古湯温泉エリアの廃校をリノベーションして誕生したスポーツ合宿施設です。最大145名の収容が可能で、さまざまなタイプを備えた客室をはじめ、グラウンドや体育館、さらに近隣には湖や河川があり、多種多様なスポーツの練習や大会ニーズに応えています。オープン後の利用者数は年間約4,000泊。2024年に佐賀県で国民スポーツ大会の実施が内定したことでプロチームの合宿にも利用されるなど、今後もスポーツを軸としたまちづくりの拠点としてスポーツ人口の増加や観光客誘致への活用が期待されます。

### ① 社会的ネットワークを広げるために…

## 活動の持続性を担保する

「スポーツまちづくり」の活動に地域内での正当性を付与して持続性を担保し、公益性を担わせる。

### CASE 1 島根県 出雲市

#### 特定非営利活動法人 出雲スポーツ振興21



## 連携しやすい体制構築で、まちのスポーツ活動を後押し

島根県出雲市は、1999年に「人づくり」「環境づくり」「システムづくり」を三本柱とする「出雲スポーツ振興プラン21」を策定。プランを推進する組織として、「NPO法人出雲スポーツ振興21」を立ち上げました。同法人はスポーツ団体の事務局、スポーツ活動への支援・協力などを柱としながら事業を展開。さらに近年注目を集めるスポーツツーリズムや、スポーツや文化活動を通じて障がい者と健常者の交流を進めるノーマライゼーション事業など、スポーツをまちに取り入れる活動に公益性を担わせることで、関係者同士が連携・協働しやすいネットワークを広げています。

# WORKS

フジテックの納入事例

Name

## エスコンフィールド HOKKAIDO 【公共施設】

ES CON FIELD HOKKAIDO 北海道・北広島

Data

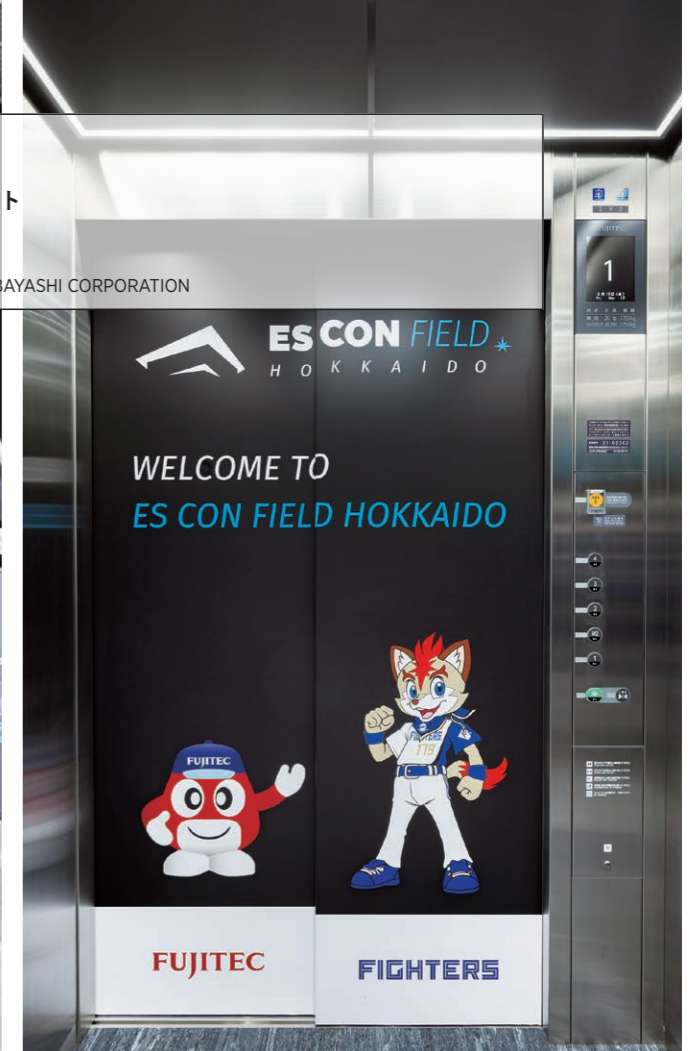
●竣工：2023年  
 ●施主：株式会社ファイターズスポーツ&エンターテインメント  
 設計：株式会社大林組、HKS 施工：株式会社大林組  
 Client: Fighters Sports & Entertainment Co., Ltd.  
 Design and supervision: OBAYASHI CORPORATION, HKS, Inc. Construction: OBAYASHI CORPORATION

「エスコンフィールドHOKKAIDO」は、「北海道のシンボル」となる空間を創造する」をコンセプトに、北海道ボールパーク内にある、日本初の開閉式屋根付き天然芝球場です。地下1階、地上5階建ての同施設は、天然芝の香りや、色鮮やかなグリーンで五感を満たす空間づくりが特徴です。

世界最大級の大型ビジョンやフィールドビューが途切れることのない360度回遊型のコンコースは歩いているだけで楽しみ、プレイヤーファーストとファンファーストの両立を目指しています。

ここにフジテックのエレベータ13台、エスカレータ14台を納入。エスカレータは短時間に多くの観客が利用することを想定し、通常の2倍の荷重強度を持たせた「重負荷仕様」を採用。球場内のバリアフリー化とスムーズな観客動線の設計を目指し、観客の移動を安全かつスムーズにサポートします。

The "ES CON FIELD HOKKAIDO" is Japan's first natural turf stadium with retractable roof. Located in the Hokkaido Ball Park under the concept of "creating a space that will become a symbol of Hokkaido". The stadium, with five (5) floors above ground and one (1) basement, offers the scent of natural grass and colorful greenery to create a space that satisfies all five senses. This stadium is equipped with one of the world's largest screens and a 360-degree circular concourse that offers uninterrupted field views which is enjoyable just by walking around, and aims for being both player-first and fan-first. Fujitec delivered thirteen (13) elevators and fourteen (14) escalators here. The escalators are designed to be used by a large number of spectators in a short period of time and have a "heavy load specification" with twice the load strength of a normal escalator. The goal was to create a barrier-free stadium and design a smooth flow to ensure safe and smooth movement of the audience.



### Elevators Specifications

機種 (Type)	用途 (Use)	積載 (kg) (Capacity)	定員 (名) (Quota)	速度 (m/min) (Speed)	停止階数 (階) (Stops)	台数 (台) (Units)
Order XIOR	乗用	1,750	26	105	6	2
Order XIOR	乗用	1,750	26	105	5	1
Order XIOR	乗用	1,750	26	60	4	2
Order XIOR	乗用	1,150	17	60	3	1
Order XIOR	乗用	1,150	17	45	2	2
Order XIOR	人荷用	1,800	27	105	6	2
Order XIOR	人荷用	1,750	26	60	4	1
XIOR	乗用	1,000	15	105	6	1
XIOR	人荷用	1,000	15	45	2	1

合計 (Total) : 13

### Escalators Specifications

機種 (Type)	モデル (Model)	ステップ幅 (mm) (Size)	階高 (mm) (Rise)	勾配 (度) (Inclination)	台数 (台) (Units)
GS-NX	S	1,000	8,750	30°	7
GS-NX	S	600	8,750	30°	1
GS-NX	S	1,000	8,400	30°	4
GS-NX	P	1,000	5,600	30°	2

合計 (Total) : 14

# 高層マンションのエレベーターリニューアル

## ～居住者さまに配慮した工事を実現～

今後、高層建築におけるエレベーターリニューアルの需要は高まることが予想されています。今回、地上28階建ての高層マンション「晴海アイランドトリトンスクエアアーバンタワー」の当社事例をご紹介します。約2年の歳月をかけ、エレベーター4台のフルリニューアルを実施しました。

リニューアルの詳細はこちらから



### 高層マンションでも安心のエレベーターリニューアル

#### 施設や建物に合わせたプランをご提案

1997年の建築基準法の改正を機に急増した高層マンション。この当時に建てられた物件はエレベーターの更新時期を迎えています。居住者さまがお住まいになっている中での工事や、大規模物件ならではの大掛かりな施工は難度が高いものの、当社は積み上げてきた技術とノウハウを活用しながら、高層マンションのエレベーターリニューアルにも柔軟に対応。「晴海アイランドトリトンスクエアアーバンタワー」の施工でも、お客さまに合わせた独自のプランでエレベーター4台をフルリニューアルしました。



1 「晴海アイランドトリトンスクエアアーバンタワー」のリニューアルしたエレベーター外観  
2 リニューアル前と比べ、内装も高層マンションにふさわしい落ち着いたデザインに

晴海アイランドトリトンスクエアアーバンタワー（東京都中央区）

#### 居住者さまの生活を第一に考えた工事

UR<sup>※</sup>では、住宅ストックの活用や再生、維持保全などを通して、長く、“安全・安心”に利用できる住環境の提供を目指してきました。本物件も完成からおよそ20年が経過したことから、今回、エレベーターリニューアルの実施に踏み切りました。

今回の物件では多くの居住者さまがお住まいだったため、皆さまへの負担をいかに小さくできるかを重要視しました。そのため、施工計画の段階からフジテック

と繰り返し相談を行い、慎重に進行。エレベーター1台ずつの施工や、居住者さまに合わせた工事時間帯の設定にはとても感謝しています。また工事への理解を促すデジタルサイネージ、さらにはフジテックの施工担当者の迅速で柔軟な対応や居住者さまの信頼を得られる人柄の良さは、工事に対する“安心感の醸成”という非常に重要な役割を果たしてくれていたと思います。

約2年という長期間にわたる施工となりましたが、都心の高層マンションとしてふさわしいデザインへと生まれ変わりました。リニューアル後も以前と変わらず安全に稼働し続けているエレベーターに満足しています。

※URは都市再生機構の略称です。



独立行政法人 都市再生機構  
東日本賃貸住宅本部  
リノベーション設計部  
リノベーション機械設備設計課  
主幹

土肥 豪志 様

### 「晴海アイランドトリトンスクエアアーバンタワー」工事概要

#### ■ 施工プラン



晴海アイランドトリトンスクエアアーバンタワー

【所在地】東京都中央区晴海1-8-5  
【階数】地下1階、地上28階建て  
【戸数】314戸  
【工期】2021年5月～2023年2月

#### Point 1 エレベーターを1台ずつ順番に施工

4台のエレベーターを1台ずつ施工し、残りの3台は稼働。居住者さまの移動や生活に支障のない工事進行を実現。

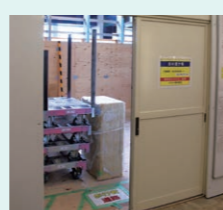
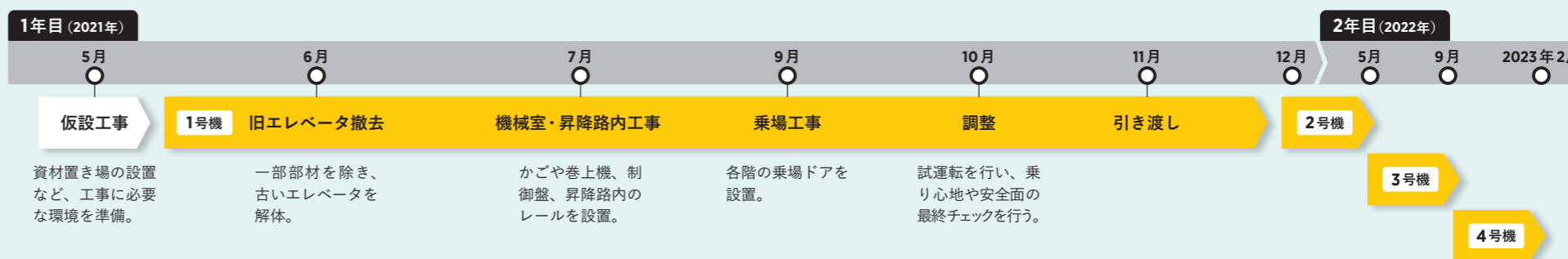
#### Point 2 既設部材の流用で工期を短縮

既設の乗場部材を一部流用することで工期を短縮。居室近くの工事が減り騒音も軽減。さらに廃材削減にもつながった。

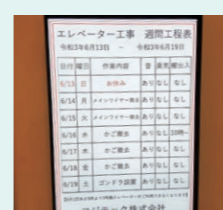
#### Point 3 生活に配慮した工事時間帯の設定

振動や騒音が発生する工事は平日の日中に行い、音が気になる方向向けに退避所を設置。局所的に発生するエレベーターを全台停止して行う工事は深夜帯に実施。

#### ■ リニューアルのフロー



仮囲いを作り、住民の安全を確保  
ファミリー層の多い建物特性を加味し、子どもたちの安全確保のため、資材置き場には強固な仮囲いを設置。



デジタルサイネージで工事の進捗を見える化  
工事工程を週次で掲示することで、工事に対する居住者さまの不安を取り除く。



かご内には情報モニターを設置  
エレベーターのかご内に設置した天気予報や時事ニュースが分かるモニターは、居住者さまから好評。

[Vol. 10]

# 花王株式会社 「みんなのGENKIプロジェクト」



## 社員や家族の健康づくりを やる気の出る企画で後押し

花王株式会社の「みんなのGENKIプロジェクト」は、健康づくりを積極的に社員や社外に広げる活動です。社員や家族が気軽に参加できるスポーツイベントの開催や、健康増進に役立つ情報発信を行っており、これまでに春夏のウォーキングイベント、動画配信やセミナー、希望者への歩数計の配布など、日常生活に運動を取り入れるためのさまざまな企画を展開してきました。

イベントに参加した社員からは「継続して

実施してほしい」「モチベーションアップにつながった」「自分に合った運動を探すのが楽しくなった」などの声が寄せられ、さらに活動をきっかけに運動を始めた、再開した人も増えているとか。

こうした活動が評価され、花王は社員の健康増進のためにスポーツの実施に向けた積極的な取り組みを行っている企業として、5年連続でスポーツ庁「スポーツエールカンパニー」にも認定されています。



花王株式会社

【事業】 ハイジーン&リビングケア事業、ヘルス&ビューティケア事業、ライフケア事業、化粧品事業、ケミカル事業 【従業員数】 35,411人（連結従業員数）（2022年12月31日現在）

Let's!

## 未来へのワンアクション Vol. 02

一人ひとりの小さな行動も、持続可能な社会につながる大事なアクション。当社が会社や個人で取り組むSDGsに向けた活動を紹介します。



今号の目標



### 4 質の高い教育をみんなに

教育における差別をなくし、全ての人々が区別なく、公平で質の高い教育を生涯にわたって受けられる社会を目指しています。

フジテック株式会社 大阪総務部

安野 信之の ワンアクション

#### 人道支援的SDGs活動の重要性を 若い世代とともに考える



登壇風景（写真中央が安野）

人道支援的SDGsへの理解がさらに深まれば、世界での争い事や貧困を減らせると考え、国際連合世界食糧計画と連携して4年前に活動を開始しました。講師をしている大学・高校での講義の場を通じ、より多くの若い世代に、SDGsに対する視点の多様化や善意・思いやりの醸成の必要性に気付いてもらえるよう活動を続けています。

フジテック株式会社 神戸支店

永添 智志の ワンアクション

#### 部活動のサポートを通して 子どもたちの経験の場を守る



指導の様子（写真右が永添）

15年ほど、土日を中心に、地元中学校の剣道部で指導のサポートをしています。教育現場は人手不足で、顧問の教員が異動すると部活動が廃部になり、子どもたちの活動の場が失われてしまうことも。剣道未経験の教員が顧問でも、私が専門領域の指導をフォローすることで、子どもたちに剣道をする場を残していることにやりがいを感じています。

フジテックの ワンアクション



#### エレベータ・エスカレータの「安全教室」を世界へ

フジテックでは、グループ各社でエレベータ・エスカレータの安全な乗り方を伝える「安全教室」を実施しています。この教室は、エレベータ・エスカレータ利用時の注意喚起を目的にしており、不意の動きがケガにつながりやすい小学校

低学年が主な対象です。

2013年からの10年間で参加者は日本国内で、約3,000名。同様の教室を中国でも開催するなど、「安全・安心」を実現するための活動を世界にも広げています。



1 そばはおいしさだけでなく栄養価も高い。抗酸化作用や血圧降下作用のある機能成分「ルチン」が含まれ、白米や小麦粉に比べてたんぱく質の含有量も多い。2 北海道産のソバの多くは「キタワセソバ」という品種。早熟で食味・風味が良く、収穫時の脱粒も少ないので無駄なく生産できるという特徴がある。6月に種をまき、9月には収穫されて「新そば」として全国に出回る。

▶北海道庁旧本庁舎



©TAK067 / PIXTA



1 1876（明治9）年、札幌農学校（現在の北海道大学）の初代教頭として招かれ、「北海道開拓の父」と呼ばれたクラーク博士。丘の上に立つ像の真っすぐに伸ばした右手の先は「はるかかなたの永遠の真理」を指しているとか。2 季節ごとに彩り豊かな景色が楽しめる羊ヶ丘。初夏にはレストハウスの裏手に広がるラベンダー畑が美しい薄紫色に埋め尽くされ、観光客にも人気のスポットに。



▶エゾシカ

©kata716 / PIXTA

連載 Vol. 10

# ご当地の名品名所

国内外の各地で働くフジテックの社員がえりすぐった、さまざまなご当地情報をご紹介します。今回は「北海道」にフォーカスして地域の魅力をお届けします。

今回は…  
北海道



▶ズワイガニ

## 【 そば 】

### 冷涼な気候が育んだ名産のそば

ラーメンや水産物などで有名な北海道。実は日本一のソバ生産地で、全国の収穫量のおよそ4割を占めています。北海道のソバ栽培は、夏の冷涼な気候、昼夜の寒暖差が大きいこと、さらに朝もやが発生しやすいなど、上質なソバを育てるのに最適な条件がそろった場所が多いことから広がりました。中でも生産量が多いのは北海道の北西部に位置する幌加内町です。1970年代から本格的にソバの

作付けが盛んになり、1980年には作付け面積日本一に。この他にも、十勝地方の新得町や鹿追町、「ソバの北限」といわれる音威子府村など道内各地で栽培が行われています。毎年7月ごろになると、辺り一面がきれいな白い花で埋め尽くされるソバ畑の風景も素晴らしく、今では北海道の夏の風物詩です。地元で取れたそば粉を使った香り高い逸品を味わいに、一度訪れてみませんか。

STAFF VOICE  
現地スタッフのおすすめ

教えてくれたのは…  
フジテック株式会社 北海道支店  
堀 拓馬

おすすめは「手打ち蕎麦 ルチン」  
北海道産のそば粉と小麦粉を使った打ちたてのそばがおいしいお店。夜には、そばつゆで食べる「豚しゃぶ」と日本酒も最高です。

〒060-0003 北海道札幌市中央区北3条西12-2-1  
営業時間：昼 11:00～15:00、夜 17:00～19:30 ※水・土のみ  
定休日：日、祝日の月 ☎011-557-0346

▶夕張メロン



## 【 さっぽろ羊ヶ丘展望台 】

### 都心近くで満喫できる雄大な自然

札幌市の南、石狩平野を見下ろす丘に「さっぽろ羊ヶ丘展望台」があります。明治時代に開拓され、農業試験場として使われてきた牧場の一角に展望台が開設されたのは1959年。以来、都市部からそう遠くない場所にありながら四季折々の雄大な自然に触れられる観光名所となっています。人気の秘密は、何ととっても素晴らしい眺望。春は若草、秋は紅葉、冬は幻想的な雪景色が広がり、のどかな牧

場の向こうには札幌ドームや市街地まで一望できます。敷地内には「ボーイズ・ビー・アンビシャス（少年よ、大志を抱け）」の言葉で名高いクラーク博士像をはじめ、「さっぽろ雪まつり資料館」や「羊さんのお家」など見どころも豊富。レストハウスやカフェでは、名物のジンギスカンやソフトクリームなどが楽しめます。北海道らしさを気軽に体験できるスポットとして、一年を通して多くの人が訪れます。

STAFF VOICE  
現地スタッフのおすすめ

教えてくれたのは…  
フジテック株式会社 北海道支店 課長代理  
伊藤 成彦

学生時代のアツい思い出の場所です  
思い出のジンギスカン屋

学生時代、「さっぽろ羊ヶ丘展望台」の中にあるレストハウスのジンギスカン店でアルバイトをしていました。夏の暑いときに、熱い鉄板をヘラでひたすらきれいにしていたアツい思い出がある場所です。



# 移動をつくる 現場から

— VOL.02 —

移動の「安全・安心」や  
新しい体験を生み出す現場から、  
フジテックのさまざまな  
プロフェッショナルたちを紹介します。



故障の予兆を捉えるには経験も必要。リーダーとして若手に自分の経験を伝えていくことを大切にしています（原田）

CATEGORY

フィールド  
エンジニア

INTERVIEW

六本木サービスセンター 主管  
原田 晋吾

## お客さまとのコミュニケーションで 「予防保全」のクオリティを上げる

全国に130以上あるサービスセンターは、エレベーター・エスカレーター  
の定期点検と万一の時の故障対応  
を行うメンテナンスの拠点です。私  
は現在、六本木サービスセンターで  
専門技術スタッフであるフィールド  
エンジニアとして10名の仲間ととも  
に働いています。

エレベーター・エスカレーターは安全に  
動いて当たり前の社会インフラです。  
特に六本木には高層のオフィスや商  
業施設など、昇降機が欠かせないビ  
ルが数多くあります。停止時間を設  
けていただきメンテナンスするから  
には、次の点検まで「故障させない」  
ことはもとより、微細な振動や音な  
どの乗り心地に至るまできめ細かく  
対応することを心掛けています。

重要なのは、お客さまとのコミュニ  
ケーションです。例えば、「少し  
揺れるが気になる」といったお客さ  
まの声を手がかりに、施設のニーズ

に寄り添ったメンテナンスを行い、  
最終的により良いサービスを提供で  
きるよう努めています。

今後、日々進化する技術を  
キャッチアップし、同僚にも共有し  
ながら、お客さまにますます信頼し  
ていただけるようメンテナンスのク  
オリティを上げていきます。

COLUMN

### トップエンジニアの称号「5つ星」バッジ



フジテックでは技術、知識、経験において高い技量をもつフィールドエンジニアに「5つ星」の資格記章を贈呈しています。現在のバッジ所有者は全エンジニアの約8%。

記事に登場する原田も、「5つ星」バッジ所有者の一人。

## フジテック株式会社

USNET [アスネット] 2023 SUMMER No.69 (2023年7月1日発行)

編集・発行/フジテック株式会社 東京本社 広報室

〒108-8307 東京都港区白金1丁目17番地3号 TEL.03-4330-8233 www.fujitec.co.jp